

第1学年〇組 音楽科学習指導案

指導者 福岡市立〇〇中学校
教諭 〇〇〇〇

1 題材 「長唄に親しもう」

教材 長唄『鶯娘』より「くどき」(作者未詳 / 杵屋忠次郎 作曲)
長唄『娘道成寺』より「梅とさんさん」(作者未詳 / 杵屋弥三郎 作曲)
「浜辺の歌」(林 古溪 作詞 / 成田為三 作曲)

2 指導観

○ 長唄は、三味線音楽の一つであり、歌舞伎の伴奏音楽として発達した。日本音楽の独特な音使いにのって言葉の抑揚をつけたり節を回したりしてうたい、日本を代表する伝統文化の一つとして受け継がれている。新学習指導要領(平成24年度より完全実施)には『民謡、長唄などの我が国の伝統的な唱歌のうち、地域や学校、生徒の実態を考慮して、伝統的な声の特徴を感じ取れるもの(2内容A表現(4)イ(イ)より)』と明記され、長唄が例示されている。

本題材では、長唄のうたい方の特徴をとらえ、実際にうたってみるという体験を通して長唄に親しむことをねらいとしている。その際、長唄『娘道成寺』と長唄『鶯娘』の2曲の一部を用いる。長唄『娘道成寺』より「梅とさんさん」は、長唄独特の節回し(語呂)がはっきりしており、初めて長唄を聴く者にも、そのうたい方の特徴がよく聴き取れる。また、長唄『鶯娘』より「くどき」の部分「縁を結ぶの神さんに」は、短い言葉の中に母音(産字)をはっきり聴き取ることができ、節回しを真似しやすい。そのため、2曲とも初めて長唄を学習する生徒の実態に適している。また、長唄のような日本の伝統音楽においては、模範を見聞きしながら繰り返し真似をして体得していく学習形態が大切にされてきた。初めての表現活動に興味をもって恥ずかしがらずに取り組むことのできる第1学年の時期に、本題材を設定することは大変意義がある。ここでの学習が、第2・3学年の歌舞伎音楽や世界の諸民族の音楽の特徴的な歌の学習と結びつくように十分親しませておきたい。

○ 1年〇組は、男子19名女子20名のクラスである。授業での表現活動に積極的で、楽しんで表現しようとする雰囲気がある。しかし、日本の音楽に関するアンケート調査では、日本の伝統的な音楽を聴き親しむ機会に乏しく、ほとんどの生徒があまり関心をもっていないことがわかった。また、日本の音楽とって思い浮かぶものとして、お正月にTVや街中で流れる「春の海」、小学校の時に既習の「越天楽今様」、器楽奏「八木節」を答えた生徒が多かった。日本音楽に対する印象は、「古い感じがする」、「地味な感じ」、「変な感じ」と答える生徒もいた。自分から日本の音楽を聴くという生徒は皆無で、自国の文化に目を向ける機会の少なさを痛感した。このよう現状からも、授業で日本の文化のよさを感じ取る機会をもつことは大変有意義であると考え。鑑賞だけにとどまらず、表現活動を通して日本の音楽に親しんでいく態度を身に付けさせたい。

○ 指導にあたっては、長唄の伝統的なうたい方の体験を通して、日本的な響きを感じながら、主体的に親しむことができる力を身に付けさせたい。そのためにまず、生徒が今まで学習してきたうたい方と長唄のうたい方を聴き比べることにより違いに気付かせる。次に、生徒が挑戦しやすい長唄『鶯娘』を聴き、楽譜を書かせることで特徴をとらえさせる。ここではワークシートに聴こえた言葉を書き取らせ、生徒の書いた楽譜から長唄の特徴を確認する。そして、特徴を確認しながら手振りを使って長唄の練習をし、グループごとの発表を行う。最後に、長唄『鶯娘』の舞踊の映像を視聴し、歌舞伎音楽としての長唄を感じ取らせ、今後の他の題材の学習への布石としておきたい。

3 目標分類表

内容 \ 観点	関心・意欲・態度	感受・表現の工夫	表現の技能
○長唄の特徴をとらえる。	○長唄に関心を持ち、特徴を感じ取っている。		
○長唄を表現し、親しむ。	○主体的に表現し、親しんでいる。	○長唄の特徴を感じながら表現しようとしている。	

4 計画(2時間)

配時	学習活動・内容	留意点	観点：評価規準 ＜評価の方法＞
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">1</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">本時 1 ／ 2</p>	<p style="text-align: center;">長唄に親しもう</p> <hr/> <p>長唄の特徴を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2種類の曲の聴き比べ <ul style="list-style-type: none"> ・伸ばし方 ・発声の違い など A：「浜辺の歌」 B：『娘道成寺』より「梅とさんさん」 <hr/> <p>長唄『鶯娘』を聴いて、うたい方の特徴を感じながら歌う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 長唄『鶯娘』を聴いて記譜する。 (2) 特徴について発表し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・母音（産字） ・節回し（語呂） (3) うたうことを通して特徴を実感する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○AはBと対照的な節回しがない歌い方で聴き比べしやすい演奏のものを準備する。 ○聴き比べて気付いたことを発表させ、発言が出にくい場合は、声の出し方や伸ばし方などについて尋ねる。 ○言葉をワークシートに書き取らせ、歌い方の特徴を視覚的にわかるようにする。 ○記号や文字の大きさを交えた書き取り方法を狂言の例を挙げて説明する。 (例) ややしや＝ イヤァ イヤァ コシイヤァァ↑ ○繰り返し聴かせ、じっくりと書き取れるようににする。 ○特徴を発表する時は、プロジェクターを準備しワークシートを拡大して、音楽と合わせながら確認できるようにする。 ○DVDで実際の演奏を試聴させ、うたい方を具体的にイメージできやすいようにする。 ○手振りしやすい楽譜を拡大して提示する。 ○生徒の活動の様子を見て、つまずきやすいところに助言する。 	<p>関感：長唄に関心を持ち、特徴を感じ取っている。 ＜様相チェック・ワークシート分析＞</p>
<p style="text-align: center;">2</p>	<p>長唄の特徴を生かして一斉やグループなどで練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の出し方 ・語呂のつけ方の工夫 など <hr/> <p style="text-align: center;">グループ発表</p> <hr/> <p>学習のまとめをする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 長唄『鶯娘』の舞踊DVDを視聴する。 (2) 長唄の特徴や味わいを感じ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時のワークシートやDVDで、うたい方の確認ができるようにする。 ○個人でしっかりと声を出して表現に取り組めるように、グループ内で練習ペアをつくり、うたうときは以下のように隊形移動をする。 <p style="text-align: center;">●← →● 向かい合い、腕を伸ばして ●← →● 間隔をとる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相互評価させ、一人一人の工夫を意識して聴くことができるようにする。 ○発表の際、教師が三味線伴奏をつけ、日本的な雰囲気味わえるようにする。 ○長唄『鶯娘』の舞踊のDVDを視聴することで、歌舞伎音楽としての長唄を認識できるようにする。 ○長唄と民謡や演歌などのうたい方との類似点も確認する。 ○伴奏である三味線や間合いの味わいにも触れ、日本音楽のよさや特徴を感じることができるようになる。 	<p>感表：長唄のうたい方の特徴を感じながら表現しようとしている。 ＜表現チェック・様相チェック＞</p> <p>関：主体的に表現し、親しんでいる。 ＜様相チェック・ワークシート分析＞</p>

(1) 本時の指導観

本時は、実際に長唄を体験することにより、うたい方に関心を持ち特徴を感じ取らせることをねらいとする。授業全体を通して、初めての長唄と出会いを大切にしたい。

まず、生徒が今まで親しんできた歌い方と長唄のうたい方を聴き比べることにより違いに気付かせる。次に、生徒が挑戦しやすい長唄『鶯娘』を聴き、楽譜を書いてみることで特徴をとらえさせる。楽譜の書き方については、狂言のセリフを取り上げて具体的に例示をしてイメージできるようにする。母音を強調したり独特の節回しがあったりするうたい方に気づかせるために、歌詞を知らせずにワークシートに聞こえた言葉を書き取らせるようにする。そして、生徒の書いた楽譜をプロジェクターで拡大して示しながら、長唄の特徴を確認する。さらに、DVDで模範となる演奏を試聴した後、音程や語呂などを手振りを使って表現させる。その際、手振りしやすい楽譜を拡大して提示し一斉に練習ができるようにする。最後に、本時の学習を振り返らせ、生徒の感想から新たに気付いた長唄の特徴や疑問を引き出し、次時への意欲をもたせる。

(2) 主眼 ○ 長唄のうたい方に関心を持ち、特徴を感じ取ることができる。

(3) 準備 ①ワークシート ②プロジェクター ③CD ④DVD ⑤拡大楽譜

(4) 過程

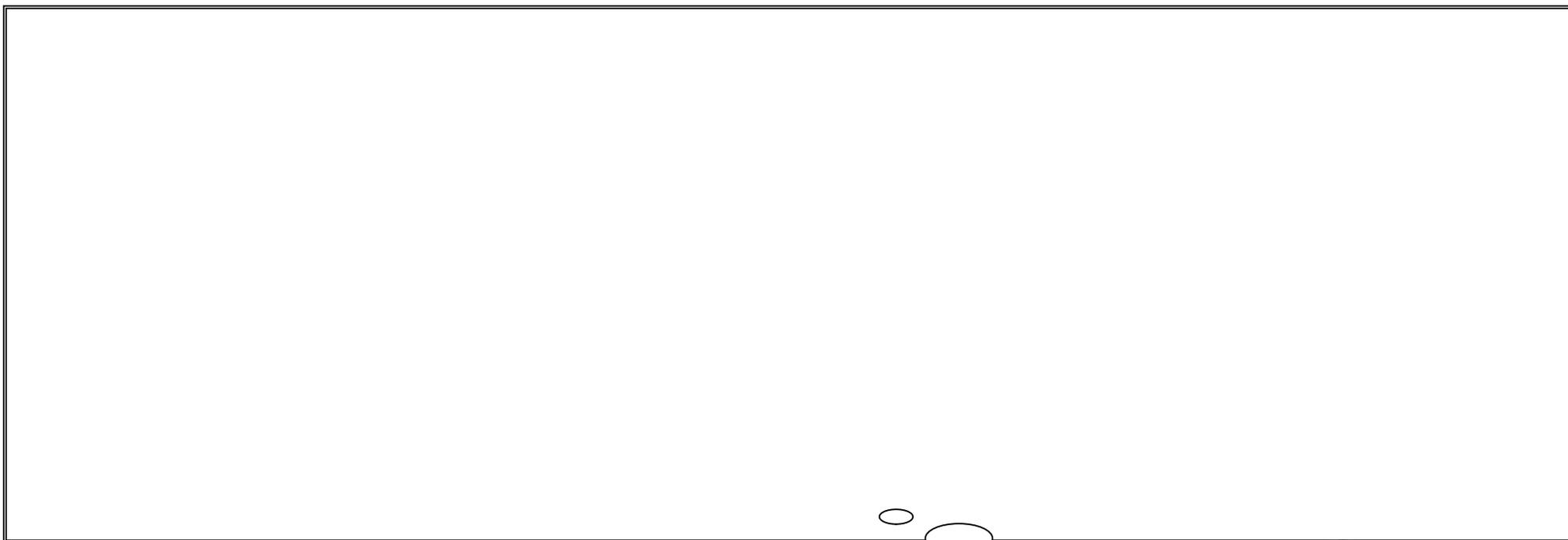
学習活動・内容	○留意点 ◆評価 <評価の方法>						
<p>1 長唄の特徴を感じ取り、本時の学習について話し合う。</p> <p>(1) 2種類の曲を聴き、うたい方の違いを探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸ばし方、発声の違いなど <p>(2) 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>長唄の特徴をみつけよう</p> </div> <p>2 長唄『鶯娘』より「くどき」を聴いて、うたい方の特徴を感じながら歌う。</p> <p>(1) 長唄『鶯娘』を聴いて記譜する。</p> <p>(2) 特徴について発表し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母音（産字） ・節回し（語呂） <p>(3) うたうことを通して特徴を実感する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVDの視聴でうたい方をイメージ ・特徴を生かしたうたい方を工夫 <p>3 本時学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長唄の特徴の確認 ・次時への見通し 	<p>○AはBと対照的な節回しがない歌い方で聴き比べしやすい音源を準備する。</p> <p style="padding-left: 20px;">A：「浜辺の歌」 B：長唄『娘道成寺』より「梅とさんさん」</p> <p>○発言が出にくい場合は、声の出し方や伸ばし方などについて尋ねる。</p> <p>○言葉をワークシートに書き取らせ、歌い方の特徴を視覚的にわかるようにする。</p> <p>○書き取りやすくするために、記号や文字の大きさを交えた書き取り方法の例を挙げる。例は狂言の中から特徴が顕著であるものにする。</p> <p style="padding-left: 20px;">(例) ややしや=いやア いやア こおれいやアアア↑</p> <p>○繰り返し聴かせ、じっくりと書き取れるようにする。</p> <p>○発表する際は、プロジェクターを準備してワークシートを拡大し、音楽と合わせながら確認できるようにする。</p> <p>○長唄の特徴を生徒が書いた楽譜に書き込み、確認する。</p> <p>○手振りしやすいように拡大した楽譜を提示する。</p> <p>○DVDで映像をみて特徴を整理させる。</p> <p>○音程や語呂を手振りをつけて練習させ、生徒の活動の様子を見ながらつまずきやすいところに助言する。</p> <p>◆関感：長唄に関心を持ち、特徴を感じとっている。</p> <p style="text-align: center;"><様相チェック・ワークシート分析></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">A</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">○具体的な特徴がわかるように楽譜を書いて、熱心に特徴を表現しようとしている。</td> <td style="padding: 5px;">○自分で書いた楽譜から特徴に気付き、表現しようとしている。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">○Cの生徒への手だて 友達のワークシートを参考に楽譜を書くように促し、わかりにくい所は教師が手振りを大きめに提示する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○生徒の感想から新たに気付いた長唄の特徴や疑問を引き出し、次時への意欲をもたせる。</p>	A	B	○具体的な特徴がわかるように楽譜を書いて、熱心に特徴を表現しようとしている。	○自分で書いた楽譜から特徴に気付き、表現しようとしている。	○Cの生徒への手だて 友達のワークシートを参考に楽譜を書くように促し、わかりにくい所は教師が手振りを大きめに提示する。	
A	B						
○具体的な特徴がわかるように楽譜を書いて、熱心に特徴を表現しようとしている。	○自分で書いた楽譜から特徴に気付き、表現しようとしている。						
○Cの生徒への手だて 友達のワークシートを参考に楽譜を書くように促し、わかりにくい所は教師が手振りを大きめに提示する。							

めあて

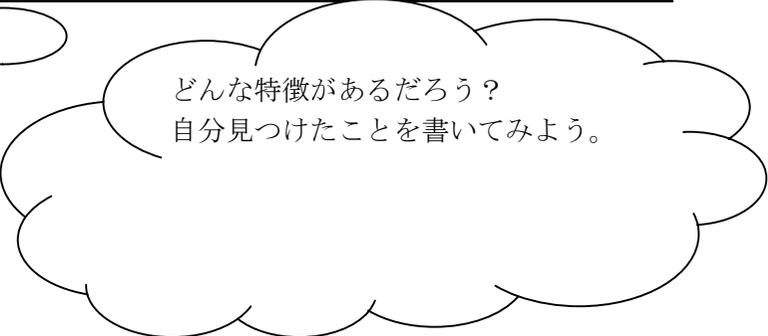
1年〔 〕組〔 〕番 氏名〔 〕

★学習した日 〔 〕月〔 〕日（ ）

1 長唄を聴いて自分なりの楽譜をつくってみよう。



2 授業を振り返って（わかったこと・気付いたこと・疑問に思ったこと）



どんな特徴があるだろう？
自分見つけたことを書いてみよう。